

16. 地域の生活環境について（問45(1)～(16)）

ここでは、「十分に満足」「まあ満足」「どちらとも言えない」「やや不満」「非常に不満」の回答者数に、各々+2点、+1点、0点、-1点、-2点を掛け合わせ、その合計を回答者数で割ったもの（平均点）を「満足度評価」として分析し、平成24年度調査以降9年間と今年度実施による結果の比較を行った。

※平均点による満足度の評価（凡例）



なお、前回結果との比較では、令和元年度、令和2年度に実施していない調査項目があるため、未実施の調査項目については、平成30年度の結果と比較した。

前回調査との平均点の比較

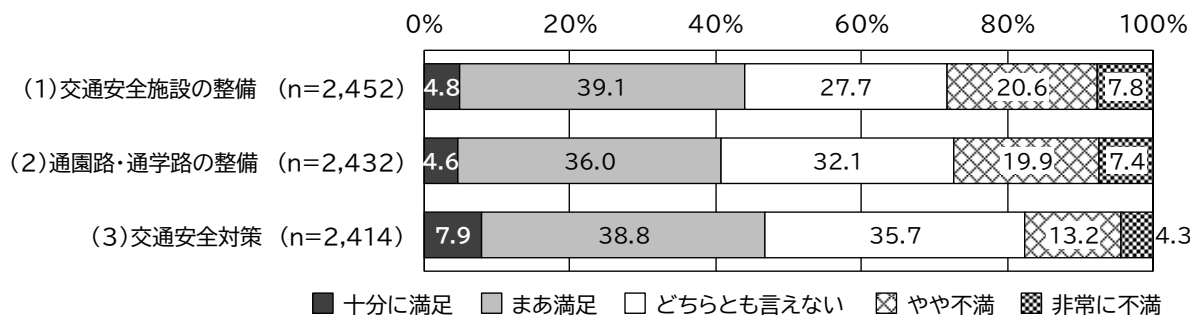
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前回との差
安全性	1 交通安全施設の整備	0.09	-0.05	0.16	0.12	▲ 0.04
	2 通園路・通学路の整備	0.11	0.01	0.18	0.11	▲ 0.07
	3 交通安全対策	0.38		0.41	0.33	▲ 0.08
利便性	4 窓口センター	0.46		0.53	0.61	0.08
	5 学校施設のスポーツ開放	0.30	0.26	0.26	0.32	0.06
	6 コミュニティ施設	0.40	0.39	0.38	0.44	0.06
	7 スポーツ・レクリエーション施設	0.26	0.20	0.21	0.27	0.06
	8 公共交通	-0.04	-0.11	0.04	0.02	▲ 0.02
快適性	9 自転車の利用のしやすさ	0.09	-0.02	0.08	0.09	0.01
	10 環境美化衛生	0.38		0.35	0.38	0.03
	11 ゴミ減量対策	0.43			0.56	0.13
	12 環境対策	0.14		0.16	0.21	0.05
	13 生活道路の整備	0.09		0.05	0.06	0.01
	14 自然環境の豊かさ	0.59	0.72	0.69	0.69	0.00
	15 景観整備	0.27	0.17	0.26	0.24	▲ 0.02
16 下水道の整備	0.30	0.46	0.48	0.46	▲ 0.02	

注記： は、実施していない調査項目

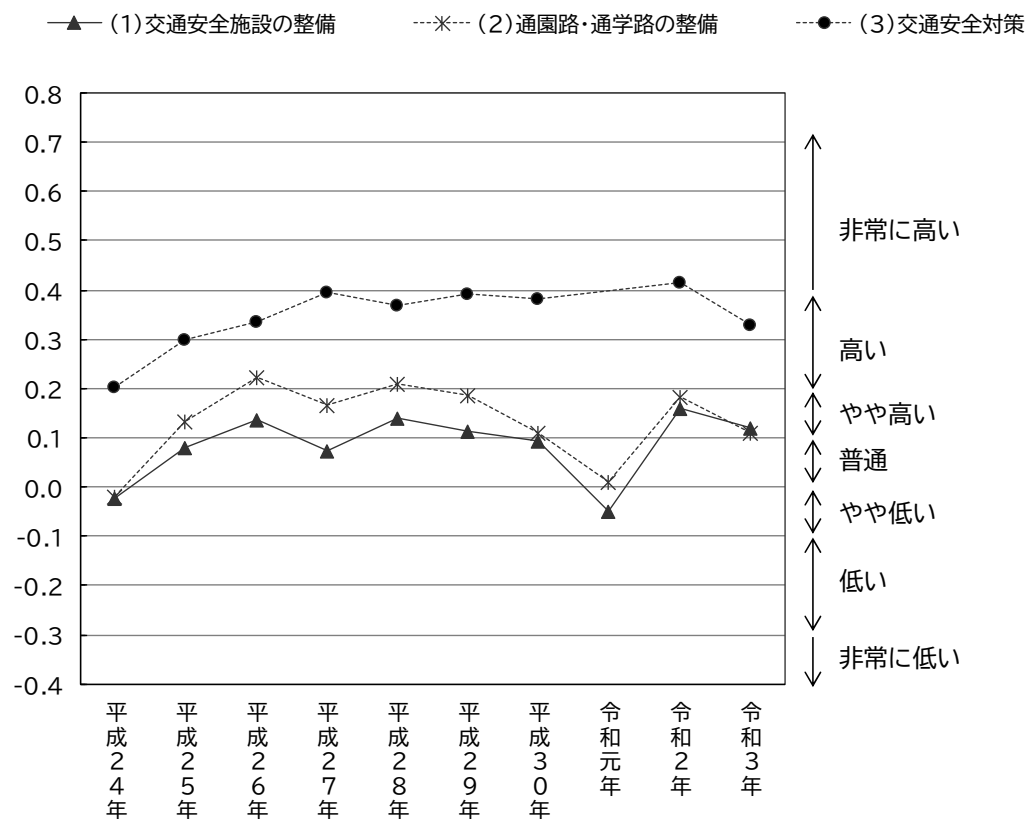
問45 お住まいの地区（小学校区）について、満足していますか。
（安全性：問45（1）～（3））

地域の生活環境の安全性について、「十分に満足」、「まあ満足」と回答した人を合わせた割合は、「交通安全対策」が46.7%と最も高く、次いで「交通安全施設の整備」（43.9%）が続いている。

一方、「やや不満」、「非常に不満」と回答した人を合わせた割合は、「交通安全施設の整備」が28.4%と最も高くなっている。



平成24年度以降10年間の満足度評価の比較（安全性）



注記：「(3)交通安全対策」は、令和元年度調査で未実施

地域の生活環境についての満足度（安全性）

			満足(%)	不満(%)	平均点	順位	評価
安 全 性	1	交通安全施設の整備	43.9	28.4	0.12	2	やや高い
	2	通園路・通学路の整備	40.6	27.3	0.11	3	やや高い
	3	交通安全対策	46.7	17.5	0.33	1	高い

（１）道路照明・ガードレールなど交通安全施設の整備

全体の 43.9%が『満足』（「十分に満足」と「まあ満足」の合計で以下同じ）、28.4%が『不満』（「非常に不満」と「やや不満」の合計で以下同じ）と回答している。平均点は 0.12 で、満足度は安全性の 3 項目の中で 2 番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「やや高い」となった。

（２）通園路・通学路の整備

全体の 40.6%が『満足』、27.3%が『不満』と回答している。平均点は 0.11 で、満足度は安全性の 3 項目の中で最も低い。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「やや高い」となった。

（３）放置自転車・違法駐車など交通安全対策

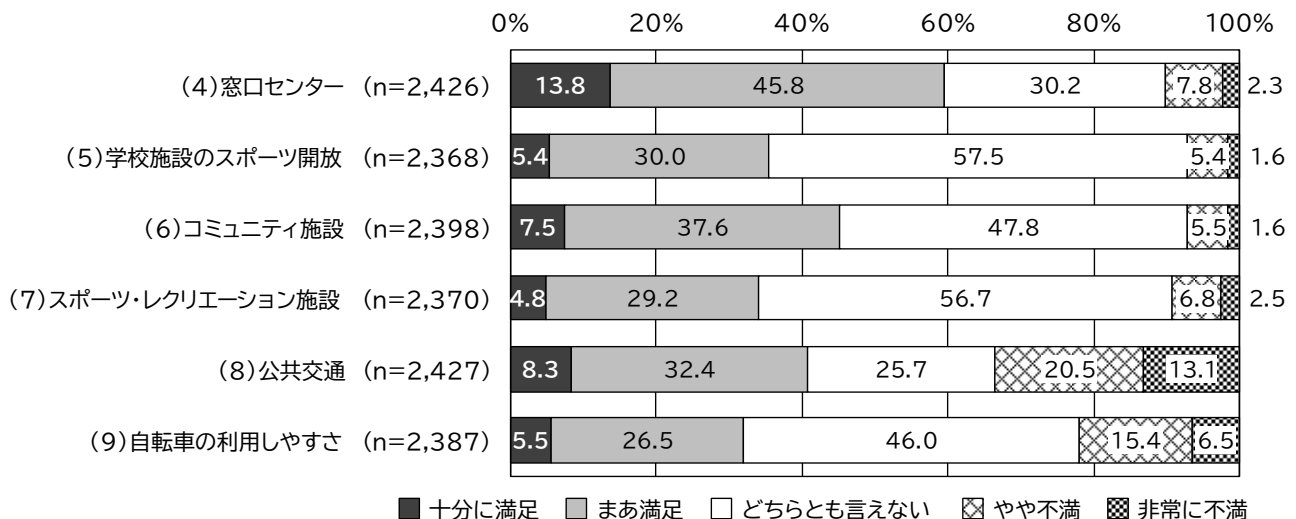
全体の 46.7%が『満足』、17.5%が『不満』と回答している。平均点は 0.33 で、満足度は安全性の 3 項目の中で最も高い。

前回調査との結果を比較すると、前回から下降し、「高い」となった。

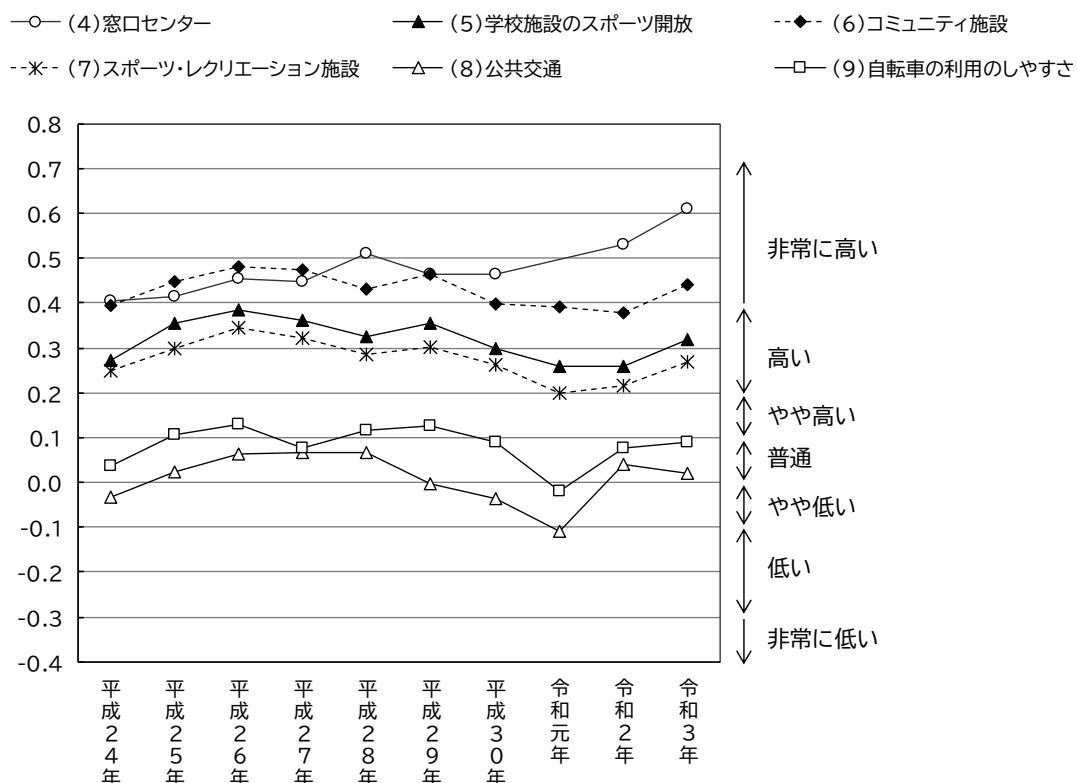
問45 お住まいの地区（小学校区）について、どの程度満足していますか。
（利便性：問45(4)～(9)）

地域の生活環境の利便性について、「十分に満足」、「まあ満足」と回答した人を合わせた割合は、「窓口センター」が59.6%と最も高く、次いで「コミュニティ施設」(45.1%)、「公共交通」(40.7%)が続いている。

一方、「やや不満」、「非常に不満」と回答した人を合わせた割合は、「公共交通」が33.6%と最も高くなっている。



平成24年度以降10年間の満足度評価の比較（利便性）



注記：「(4)窓口センター」は、令和元年度調査で未実施

地域の生活環境についての満足度（利便性）

		満足(%)	不満(%)	平均点	順位	評価
利便性	4 窓口センター	59.6	10.1	0.61	1	非常に高い
	5 学校施設のスポーツ開放	35.4	7.0	0.32	3	高い
	6 コミュニティ施設	45.1	7.1	0.44	2	非常に高い
	7 スポーツ・レクリエーション施設	34.0	9.3	0.27	4	高い
	8 公共交通	40.7	33.6	0.02	6	普通
	9 自転車の利用のしやすさ	32.0	21.9	0.09	5	普通

（４）窓口センター

全体の 59.6%が『満足』、10.1%が『不満』と回答している。平均点は 0.61 で、満足度は利便性の 6 項目の中で最も高い。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「非常に高い」となった。

（５）学校施設のスポーツ開放など

全体の 35.4%が『満足』、7.0%が『不満』と回答している。平均点は 0.32 で、満足度は利便性の 6 項目の中で 3 番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「高い」となった。

（６）地区市民館・校区市民館などコミュニティ施設

全体の 45.1%が『満足』、7.1%が『不満』と回答している。平均点は 0.44 で、満足度は利便性の 6 項目の中で 2 番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回から上昇し、「非常に高い」となった。

（７）地区体育館などスポーツ・レクリエーション施設

全体の 34.0%が『満足』、9.3%が『不満』と回答している。平均点は 0.27 で、満足度は利便性の 6 項目の中で 4 番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「高い」となった。

（８）公共交通の利用のしやすさ

全体の 40.7%が『満足』、33.6%が『不満』と回答している。平均点は 0.02 で、満足度は利便性の 6 項目の中で最も低い。

前回調査との結果を比較すると、前回同様に、「普通」となった。

（９）自転車の利用のしやすさ

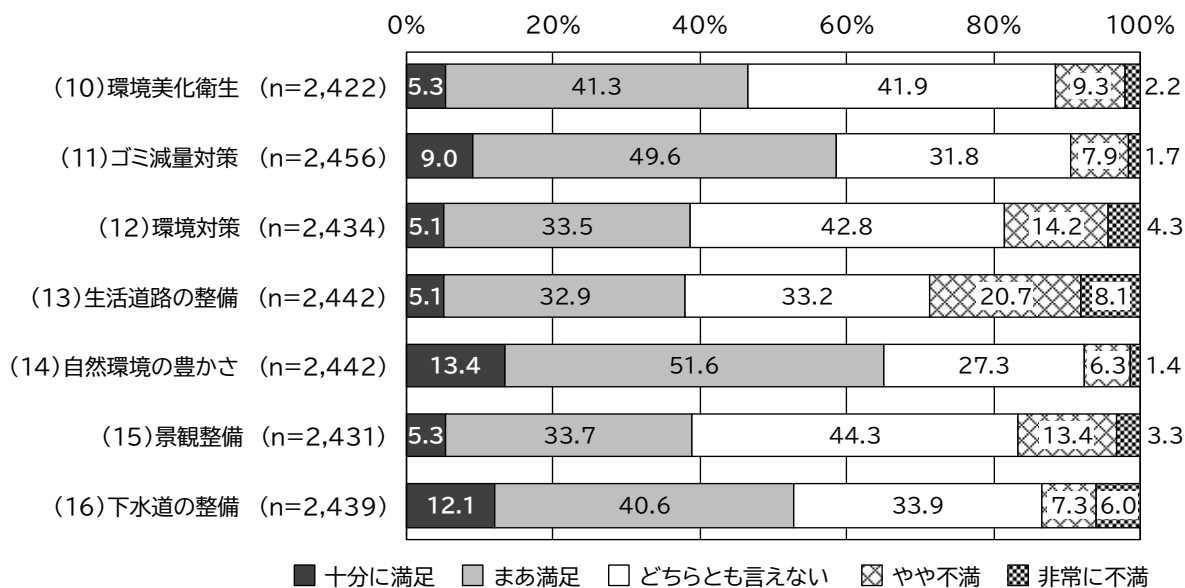
全体の 32.0%が『満足』、21.9%が『不満』と回答している。平均点は 0.09 で、満足度は利便性の 6 項目の中で 2 番目に低い。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「普通」となった。

問45 お住まいの地区（小学校区）について、どの程度満足していますか。
 （快適性：問45（10）～（16））

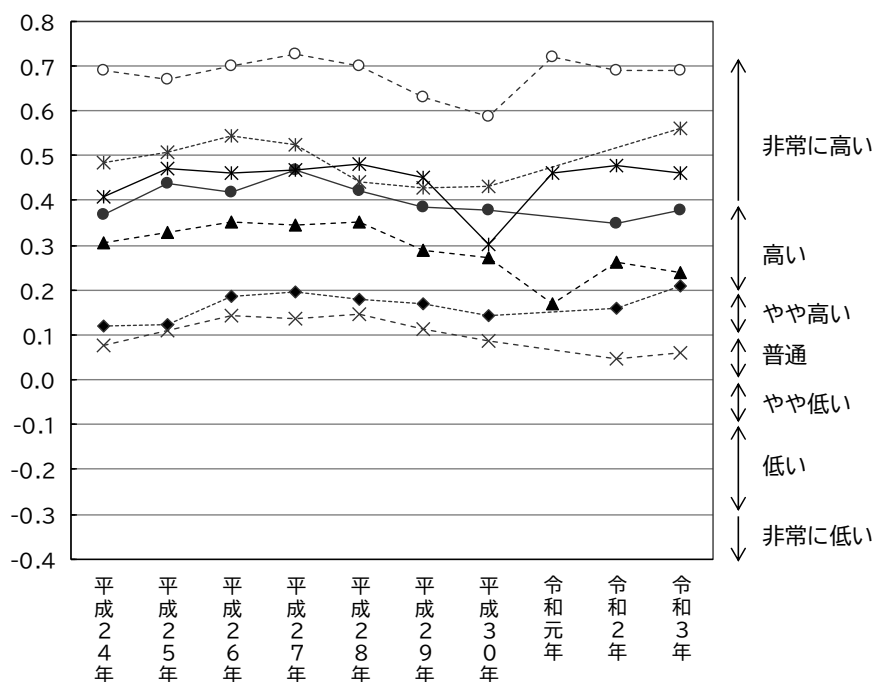
地域の生活環境の快適性について、「十分に満足」、「まあ満足」と回答した人を合わせた割合は、「自然環境の豊かさ」が65.0%と最も高く、次いで「資源回収などのゴミ減量対策」（58.6%）、「下水道の整備」（52.7%）が続いている。

一方、「やや不満」、「非常に不満」と回答した人を合わせた割合は、「生活道路の整備」が28.8%と最も高くなっている。



平成24年度以降10年間の満足度評価の比較（快適性）

● (10)環境美化衛生 * (11)ゴミ減量対策 ◆ (12)環境対策 × (13)生活道路の整備
 ○ (14)自然環境の豊かさ ▲ (15)景観整備 * (16)下水道の整備



注記：「(10)環境美化衛生」、「(11)ゴミ減量対策」、「(12)環境対策」「(13)生活道路の整備」は、令和元年度、または令和2年度調査で未実施

地域の生活環境についての満足度（快適性）

		満足(%)	不満(%)	平均点	順位	評価	
快適性	10	環境美化衛生	46.6	11.5	0.38	4	高い
	11	ゴミ減量対策	58.6	9.6	0.56	2	非常に高い
	12	環境対策	38.6	18.5	0.21	6	高い
	13	生活道路の整備	38.0	28.8	0.06	7	普通
	14	自然環境の豊かさ	65.0	7.7	0.69	1	非常に高い
	15	景観整備	39.0	16.7	0.24	5	高い
	16	下水道の整備	52.7	13.3	0.46	3	非常に高い

（10）まちをきれいにする運動など環境美化衛生

全体の46.6%が『満足』、11.5%が『不満』と回答している。平均点は0.38で、満足度は快適性の7項目の中で4番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「高い」となった。

（11）資源回収などのゴミ減量対策

全体の58.6%が『満足』、9.6%が『不満』と回答している。平均点は0.56で、満足度は快適性の7項目の中で2番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「非常に高い」となった。

（12）騒音・悪臭・河川の浄化などの環境対策

全体の38.6%が『満足』、18.5%が『不満』と回答している。平均点は0.21で、満足度は快適性の7項目の中で2番目に低い。

前回調査との結果を比較すると、前回から上昇し、「高い」となった。

（13）道路・側溝など生活道路の整備

全体の38.0%が『満足』、28.8%が『不満』と回答している。平均点は0.06で、満足度は快適性の7項目の中で最も低い。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「普通」となった。

（14）緑、自然環境の豊かさなど

全体の65.0%が『満足』、7.7%が『不満』と回答している。平均点は0.69で、満足度は快適性の7項目の中で最も高い。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「非常に高い」となった。

（15）美しいまちづくりのための景観整備

全体の39.0%が『満足』、16.7%が『不満』と回答している。平均点は0.24で、満足度は快適性の7項目の中で5番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「高い」となった。

（16）下水道の整備

全体の52.7%が『満足』、13.3%が『不満』と回答している。平均点は0.46で、満足度は快適性の7項目の中で3番目となっている。

前回調査との結果を比較すると、前回と同様に、「非常に高い」となった。